

## 議 事 録

年 月 日	令和4年3月16日(水)午後7時から午後8時まで
場 所	保健福祉センター 研修室
会 議 の 名 称	令和3年度第2回島田市健康づくり推進協議会
出 席 者	別紙出席者名簿のとおり
要 旨	<p>2 報告事項(1)(2)(3)部会について 健康づくり推進協議会の下部組織である歯科保健部会と ところの健康部会、健康管理部会の令和3年度の協議会内 容について資料1により報告を行った。</p> <p>2 報告事項(4)島田市の健康課題について 島田市の健康課題について、特定健診で糖尿病予備軍と運 動習慣のない人が優位に高く、メタボ・肥満は少ないことを報告した。 第3次健康増進計画で運動習慣がある人を各年代で増やすという目 標があり、目標達成のためには、関係機関を含めた取り組みが必要 であることを報告した。 ※資料2により説明</p> <p>2 報告事項(5)島田市における健康増進に関する取組につ いて ※資料3により説明</p> <p>3 意見交換 今年度の取り組みについて運動に関する取り組みや、健 康増進に関する取り組みの報告や提案がされた。 商工会議所からは、70周年ウォークラリーを開催し、約 250人が参加したことが報告された。この事業において、健幸 マイレージ事業の周知を実施していただいた。 健康づくり食生活推進協議会からは、6月の食育月間に、 市役所玄関ロビーで食品の塩分表示をし、減塩のPRをしたことが報 告された。 減塩については、令和4年度に保健委員協議会や国保年金課で も取り組みを進めていく計画になっているため、関係機関で連携を図 っていく。</p> <p>詳細は、次ページ以降参照</p>

## 1 開会

## 2 報告事項

### (1) 歯科保健部会について

ライフステージ別事業のうち、寸劇や障害者への健康教育等が評価された。

歯と全身の健康が注目されている。噛むことによるオーラルフレイル予防や幼児からのフッ化物塗布事業の重要性を確認した。

R4年度健康増進計画策定のための市民アンケートで、オーラルフレイル等の認知度を調査し、解説によりフォローをしていく。

### (2) こころの健康部会について

プロフィールによる島田市の重点パッケージでは、取り組む対象者は高齢者、生活困窮者、子ども・若者、勤務・経営の4つ。島田市は、子ども・若者が入っていることが特徴である。

自殺者特性では20～39歳の若い年代が3位4位を占めている。

こころの健康講演会の実施方法・テーマは、R2、3年度は子ども・若者の生きづらさの原因となる発達障害とした。国も貧困や発達障害を重点としている。今後もこのテーマで継続する。

小規模での講演会オンライン開催の提案があった。

医療機関や警察において、自殺未遂者へ相談窓口周知に活用するため、来年度も継続し作成する。

### (3)健康管理部会について及び(4)島田市の健康課題について

健康管理部会で島田市の健康課題について説明した。

標準化死亡比で島田市は男女とも脳血管疾患・老衰が多く、特に40～60歳代若い世代の脳血管疾患が多い。

特定健診結果は地区毎に課題が違う。高血圧は大長・伊久美地区が多い。運動習慣がない人は伊久美・川根地区で多い。

島田市全体で特定健診糖尿病予備軍と運動習慣ない人が優位に高く、メタボ・肥満は少ない。

第3次健康増進計画で運動習慣がある人を増やすという目標がある。目標達成のためには、関係機関を含めた取り組みが必要。

国保特定健診受診率は令和2年度管内で2位、特定保健指導実施率は88.6%で管内1位。

- ・健康管理部会における委員からの意見
- ・受診率が高いが軽症のうちに予防できている。
- ・健康寿命の延伸を目指したい。
- ・健康無関心層が多く健康格差がある状況。保健委員やアンバサダー等の活動により普通に生活しているだけで減塩などの健康づくりになる0次予防がよい。
- ・令和4年度計画のための市民アンケートでアウトカムが示せる項目を入れるとよい。
- ・中小企業にはたらきかけるためには商工会議所とタイアップが必要

### (5) 島田市における健康増進に関する取組について及び3意見交換

事務局:運動室開放、健康づくり事業の委託、保健委員などによる地域住民への普及啓発の支援をしている。健幸マイレージ事業を実施している。

A委員:川根地区は、運動習慣がなくてもお茶などの農作業で体を動かしている人が多い。若い人はコロナ後オンラインが増え、運動不足の傾向がある。

B委員:オーラルフレイル(歯の虚弱)が全身の虚弱につながり、負のスパイラルとなる。ことばが

浸透するツールとしてアンケートがいいのではないか。歯周病ケアでインフルエンザにかかりにくくなるというエビデンスがあるので、周知をしてほしい。

C委員:CKD患者の処方薬チェックやCKDシールの貼付に取り組み、地域医療連携をしている。禁煙サポート薬局として、毎年研修を実施している。継続していきたい。

D委員:県健康づくり応援サイト“むすびば”にご当地体操を載せている。島田市のしまだ市つ歌りげんき体操も掲載している。積極的に利用してほしい。

E委員:コロナで市民に直接普及啓発ができなかったが、保健委員だよりの回覧や健診PRポスターの掲示、健幸マイレージ事業の普及を行なった。ウェブ研修でヨガ・ストレッチを受講し地域住民へ普及した。

F委員:コロナで市民に会う機会が少なかった。6月の食育月間に、市役所玄関ロビーで食品の塩分表示をし、減塩のPRをした。

G委員:蔓延防止で事業が中止し、高齢者の体力低下が心配。子育て中のお母さんを対象に託児つきスポーツ教室を実施した。

障害のある人等にボッチャの普及をするため、研修を受講した。

H委員:しまトレやグランドゴルフの支援をしている。コロナで運動会・ハイキングが中止となった。来年から地域でふれあいまつりを年4回実施予定。

I委員:3年前に保護者対象のヨガ教室を開催し好評だったが、この2年間やれない。

J委員:学校では、蔓延防止期間は体育の授業も制限がある。体力テストでは大きな低下なし。中学校では部活でも制限あり。

K委員:高齢者の健康づくりを目的にしているが、今年度はコロナの影響で開催回数が例年の半分。コロナに負けず頑張りたい。

L委員:商工会議所では健診の助成、健康経営の普及をしている。売り上げに直結しないが、従業員の健康につながる事が重要である。商工会議所70周年ウォークラリーを開催し、約250人が参加した。

M委員:生涯スポーツを楽しむ人を増やすため、市民ひとり1スポーツの実現を目指している。こどもからお年寄りまで、スポーツに親しむ環境づくりの推進のため、ジュニアスポーツの推進等をしている。

N委員:総合医療センターに認定看護師が12分野17名いる。脳卒中リハビリ看護師が2名おり、うち1名は地域連携室に配置している。市民対象の出前講座を利用してほしい。

O委員:健康格差の縮小や健康寿命の延伸を目指す。7割を占める健康無関心層への普及啓発のため、健幸マイレージ事業を実施しているが、イベントが少なく実績が減少した。高齢者のフレイル予防のため、しまトレ・パワリハ教室を開催している。コロナ感染予防との両立を図る。

P委員:コロナでアプローチしにくい状況だが、ヨガなど市民が関心のある事業を進めていくのがよい。働いている人に対して、商工会議所との連携が必要。

(事務連絡)

市民の健康のため、情報共有・連携は意味がある。いただいた意見を次期計画や行政の施策につなげる。R4は次期健康増進計画策定のためのアンケート調査を実施予定。8月に第1回協議会でアンケート項目の検討、2月に第2回協議会でアンケート結果の報告を予定。

4 閉会